

TAKE
FREE

2021年 新春号

vol. 68

向陽台病院の健康情報誌「こもれび」

KOMOREBI

Contents

年頭所感

〔部署紹介〕

プロフェッショナル
栄養科ってどんなところ？

〔プログラム紹介〕

ゲーム依存／ネット依存 家族教室

〔リレーエッセイ〕

法人本部 保育士 副主任 田村 貴恵

〔向陽台 PICK UP〕

作業療法士 実習の取り組み

〔連携医療機関〕

くろかみ心身クリニック
本島 昭洋 先生

〔院内学級ひかり〕

全集中！「ひかり」の呼吸

年頭所感



院長
比江島 誠人

新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍に翻弄された1年でした。人類の歴史は感染症との闘いの歴史でもあります。新型コロナワクチンも近く認可されるはずです。きつと乗り越えて、穏やかな日常を取り戻せると信じております。

向陽台病院の1年を振り返りますと、2020年1月に日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審、4月に病院機能評価3rdG:Ver.2.0を認定されました。私は2月に院長を拝命、ちょうどその頃より世界中から新型コロナの話題が届くようになりました。4月には診療報酬改定がありました。4月から6月までは苦しい時期で、面会・外出・外泊などを中止せざるを得ませんでした。その影響もあり入院者減少や各種プログラムの中止が続きました。7月にはゲーム依存/ネット依存家族教室を開始しました。8月には治療抵抗性統合失調症治療としてクロザピン治療が導入されました。

当院は精神科単科病院のため感染症の治療は守備範



法人本部 常務理事
松山 陽子

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の年明け、新型コロナウイルスについては、情報として聞き及ぶ程度であり、現在の状況になるとは考えもしていませんでした。

すでに第2波、第3波ともいわれ、未だ終息の兆しが見えていません。日本でも感染者数や重症化数が増えている中で、取り巻く社会環境にもさまざまな打撃は避けられない状況です。日常生活にも緊急事態宣言と解除相互にあわせて「新しい生活様式」の実践が提言されていますが、当面は「感染拡大の防止」と「経済の再開」を行ったり来たりを繰り返す状態が続く可能性があるようです。医療業界においても法の整備による医師など医療従事者の働き方改革の導入もありますが、必要に迫られた新しい働き方にもコロナウィルスの影響が及んでいます。

慣れないパソコンを活用し、リモートによる研修会やさまざまな会議にと、はじめは試行錯誤していましたが、いつの間にか当たり前のように対応できるようになり、否



困ではないのですが、感染が疑われる場合の対応や感染症指定病床が足りなくなった場合にどう備えるかに日々悩んでいます。そして、コロナ禍の影響を受け不安や疲労、経済的困窮などにより、メンタル面のサポートが必要な方が増えていることを診療の中で実感しています。11月24日、厚生労働省は女性の自殺が急増していることから「新型コロナウイルスの影響が長期化する中、仕事やDV＝ドメスティック・バイオレンス、育児や介護の悩みなどが深刻化していることが背景にある可能性がある。また芸能人の自殺を伝える報道の影響を受けているおそれもある。ひとりで悩みを抱え込まずに身近な人や支援機関、自治体の窓口に相談してほしい」という声明を出しました。精神科医療機関としては出番だぞと言われたような気がします。

今年1年の課題として、女性のメンタルヘルス、治療抵抗性うつ病の治療、復職支援を挙げたいと思います。少々欲張りかも知れませんが、多職種チームでなら頑張れるような気がします。

応なしの危機的状況は、変化に対応していけるものだと驚きと感心をしたものです。医療機関におけるIT化の促進もますます加速し、当法人においてもさまざまな情報のデータ化が、取り組みの成果として「働き方の改革」に繋がればと期待しています。

また、7月の大雨による甚大な災害は、未だに回復が及ばず避難所暮らしを余儀なくされている多くの方々がいらっしゃいます。予測不能な自然災害が多い国であり、県内でも近年は地震・台風・水害・土砂災害・火山噴火など幾度も見舞われています。このような災害が発生するリスクも高いと言われており、日常生活含めてのさらなるリスク管理の必要性を実感しています。

そのような中でも「丑年」の2021年は、子年の繁栄を土台に、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年になるのではないのでしょうか。

地域のさまざまな社会資源との連携を強化し、精神科医療の充実を目指し、医療・福祉ともに新たな目標へとたゆまず進み続けたいと存じます。

最後になりましたが、本年も皆様におかれまして幸せに満ちた良い年でありますようお願い申し上げます。

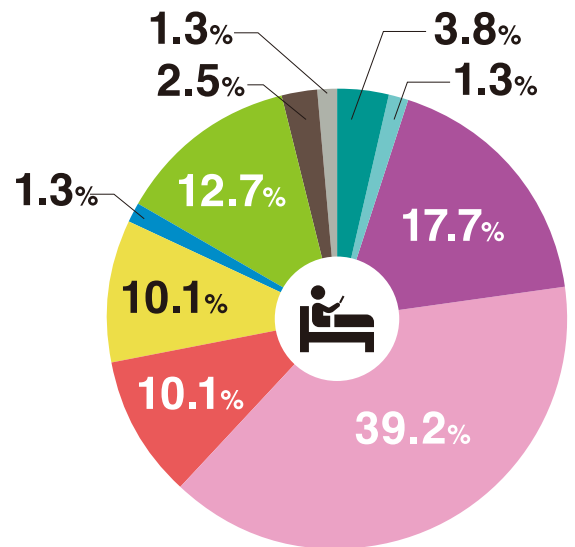


Topics & Data

救急病棟の疾患別割合と新しく病院にこられた患者さんの年代別割合

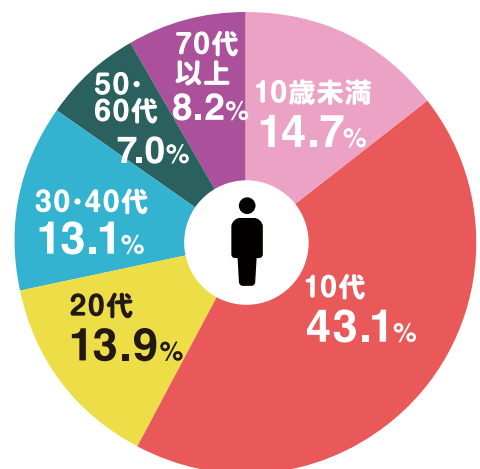
救急病棟では「摂食障害」と「ADHD」などの方の入院が増えてきています。
新患は20歳未満の方が過半数を超えています。

精神科救急病棟入院の疾患別割合 (2020年9月～11月)



■認知症 ■アルコール、物質依存障害 ■統合失調症
■気分障害 ■不安障害 ■摂食障害など ■知的障害
■ADHDなど ■てんかん ■その他
※件数が0の病名は省いています

新患の年代別割合 (2020年9月～11月)



プロフェッショナル

栄養科ってどんなところ？

● 栄養科 管理栄養士 副主任 村井 愛



“栄養士”は10人中8人ぐらいの人から「料理が上手そう!」とか「ダイエットメニュー考えて～」といわれる職業です。今回は、そんな栄養士が働いている栄養科についてご紹介したいと思います。

当院の栄養科は、病院職員(管理栄養士2名、栄養士1名)と給食委託業者(株式会社:LEOC)の職員(管理栄養士1名、栄養士5名、調理師4名、調理補助5名、食器洗浄7名)の計25名が働いています。

「こんなにたくさんの方が働いているんだ～」と思った人?(はい!!)そう。1日3食。365日の食事を1食も止めず、安心・安全に提供するには、たくさんの人の手が必要なのです。

食事の種類は21種類!?

当院には6歳～90代まで幅広い年齢の方が入院されます。さまざまな方の食事に対応できるよう、食事形態は咀嚼・嚥下に合わせて主食は5段階、おかずは6段階。食事の種類も一般食から、身体的な病気(糖尿病、高血圧、脂質異常症、腎臓病など)に対応した特食まで幅広い内容に対応しています。

厳しい衛生管理

安全な食事提供のため、調理は当日(前日の作り置きNG)、生で食べる食材の消毒、調理の温度は基準を守り厳密に…などたくさんのルールを守っています。スタッフだけでなく、家族に



トリック&トリート! ゼリーの上には型抜きされた「おばけ」と「こうもり」が!

発熱や下痢などの症状がでた場合も出勤停止になるほど衛生管理に力をいれていますので、安心してお召し上がりください。

食事が食べられない時

心の病気が原因で、食欲が低下した状態で入院される方も少なくありません。「入院してほっとした」と環境が変わることで食べられるようになる方もいらっしゃいますが、入院後もなかなか食事が食べられない場合は、食事の量を半分にし、栄養を補う補助食品を付加するなど栄養状態に合わせた食事の調整を行っています。

入院中の楽しみになるように

「食べることは生きること」。食事は治療としてだけでなく、楽しみでなければ続けていけません。

当院では行事食や朝食のセレクト(ごはん食かパン食)、主菜のセレクト(週3回、昼食と夕食/常食のみ)など

で食の楽しさを提供しています。年2回の嗜好調査では、幅広い年齢層で「肉派>魚派」、「洋食>和食」、「揚げ物>ヘルシーメニュー」、「甘い物好き>苦手」というデータがでています。今後いただいた意見を参考に、決められた栄養基準の中で創意工夫を行っていきます。

栄養指導

食べ方に注意が必要な病気(糖尿病、高血圧、肥満など)を持っている方、食の問題を抱えている方(摂食障害)を対象に主に個別の栄養指導を行っています。食の専門家として身体や食の正しい知識を伝えることはできますが、問題に取り組むのは患者さん自身。

3歩すすんで2歩下がる…を繰り返しながら前にすすんでいく患者さんに「1人で問題と向き合っているわけじゃない」と思ってもらえる信頼関係を大切にしています。栄養指導を希望する方は、主治医へご相談ください。

ゲーム依存／ネット依存 家族教室

●地域連携部 精神保健福祉士
部長 山川 あゆ美

当院では、毎月第1土曜日10時から11時30分まで、ネットやゲーム依存の方のご家族に向けて「ゲーム依存／ネット依存家族教室」を行っています。

対象は当院もしくはメンタルクリニック保田窪に通院しているネットやゲームの問題を抱える方のご家族です。医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士が参加し、テキストを用いてそれぞれの家庭での対応や工夫について話し合っています。

当院の児童思春期病棟には、ネットやゲームの問題を抱える子どもの入院が年々増加しています。そこで、家族自身もネットやゲームの知識を身につけ、依存させない方法を知る必要があると感じるようになり、この家族教室を開催することになりました。

このグループは、6回を1クールとして、どこからでも参加可能です。6回のテーマは以下の通りです。一応テーマは決まっていますが、後半はフリートークにして、疑問質問を出し合ったり、あるご家族から出された悩みをみんなで考えたり、いろいろです。入院を経験して外来通院をしているご家族が、初回入院のご家族に「うちは退院する前に、ゲームの使用ルールをこう決めました」とか「パスワードをなんとか聞き出

そうとしてくるので、誘導尋問に引っかかってはダメですよ」などアドバイスする場面もあり、テキストにない実体験に基づく助言が聞かれ、本当に勉強になります。

また、“なぜゲームにはまってしまったのか”という話題にもしばしばなります。ネットやゲームは、子どもたちの中でしない子はいないくらい当たり前に身近にあるものです。単純にネットやゲームを“どのように制限するか”だけでなく“はまらざるを得なかった”という、その背景についても一緒に考え、ネットやゲーム以外の代替方法について話し合うこともあります。

連続して参加いただいているご家族からは「ひと月分の悩みや相談をここで話して、また次の1か月頑張ろうと力をもらっています」という感想をいただき、少しはお役に立てているかなと嬉しく感じています。



第1回 ネット・ゲーム依存ってなに？

第2回 家族の健康は守られていますか？

第3回 普段どんな接し方をしていますか？

第4回 こんな時どう対処していますか？

第5回 望ましい行動を増やす方法と望ましくない行動を減らす方法

第6回 ネット・ゲームの利用ルールを作ってみましょう



そよ風 家族会

地域連携部 精神保健福祉士

水野 優紀



2020年11月28日(土)にそよ風家族会が開催されました。新型コロナウイルスの流行で5月、8月の家族会は中止となってしまいましたが、感染症対策にご協力いただき、今年度初めて開催することができました。大変な状況の中、ご家族の5名の方々と交流会を行いました。これまでの経過や日頃の思いなどを語り合い、あつという間に時間が過ぎていきました。

交流会では、「周りの元気に過ごしている人たちを見て焦る気持ちがあった。『子どもにはこういうふうになってほしい』という家族の理想や思いを押し付けしまい、本人も家族もお互いに苦しかった。家族会に参加して同じような体験をしている家族を聞き、1歩ずつ自分たちのペースで進んでいけばいいんだと思えるようになった。そこからお互いに心にゆとりが生まれ、良い方向に向かっていくような気がする』『なんでこんなに苦しい思いをしないといけないのだろう』と感じることもあった。家族会でさまざまな話を聞く中で、病気のことを学んだり、他の家族から力をもらうことができた。病気によってきついこともたくさんあるけれど、何気ないことで喜びを感じられるようになった。家族会という自分の居場所もできた」といった声が聞かれました。患者さんを身近で支えているからこそ感じる不安や苦悩があると思います。私たちスタッフにとってもご家族からパワーをもらう貴重な時間となりました。

次回は2月に開催予定ですが、感染状況によって中止することがあります。ホームページをご確認ください。



QRコードを読み取っていただき
向陽台病院ホームページを
ご覧ください



還暦

法人本部 保育士 副主任 田村 貴恵



60歳は、まだまだ先のことと思っていたが、いとも簡単に還暦を迎えてしまった。振り返ってみると楽しいことや嬉しかったこともたくさんあったが、絶えず不安や悩みと戦ってきたようにも思う。一つ解決したかと思うとすぐまた次…。この繰り返しの中で気が付けば還暦を迎えていたように思う。

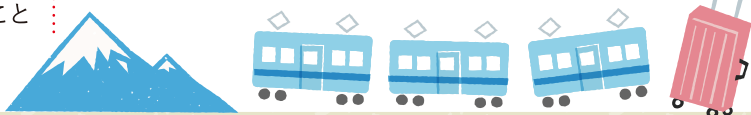
過日、娘たちが還暦祝いをしてくれた。その時に「もう60歳になったんだから仕事は週2～3日にしてあとはゆっくりすれば？」と、嬉しい言葉をかけてもらったが、もうちょっと先の老後や住宅ローンのことを考えるとゆっくりするのはまだ先のことになりそうだ。

保育の仕事に30年近く携わってきた。保育士になることは子どもの頃からの夢だった。大切な命を頂かっているという重責は絶えず付きまとっていたが、子どもたちの笑い声や泣き声の中で過ごすことができ、たくさんの癒しや喜び、元気をもらうことができた。あらためてこの仕事を選んで良かったと思う。

また、現在の趣味というか楽しみは、学生時代からの友人4人での旅行。普段は年3～4回、1～2泊での旅行を楽しんでいるが、還暦の年には少々贅沢をしようと数年前から計画し楽しみにしていた。ホテルはいつもよりワンランクアップで、宿泊も3～4泊にしよう…と、何度も集まり念入りなプランを立てた。10月には実現する予定で待ちに待っていたが、このコロナ禍で来年以降に延期となってしまった。大変ショックだったが、プランを練る楽しみが延びたと思うことにした。

これから先も不安や悩みがつきることはないと思うが、この歳まで大きな病氣もせずに健康で元気に生活ができてきたことに感謝をし、延期になってしまった還暦旅行の実現というさやかな夢を支えに頑張っていこうと思う。

今後も健康で元気に過ごしていけることを願って…。



向陽台 PICK UP

作業療法士 実習の取り組み

当院の作業療法士は、クリニカル・クラークシップ(CCS)での実習を行っています。2019年度は41名の実習生を受け入れ、後輩育成に努めています。作業療法スタッフは厚生労働省指定の臨床実習指導者講習会を受講しており、この研修会の講師を務めるスタッフも在籍しています。今回は、熊本保健科学大学の山野先生と当院で実習を行った九州中央リハビリテーション学院の学生に当院の実習についてコメントを頂いたので紹介します。

●熊本保健科学大学 山野 克明 先生

本学の作業療法士養成課程における臨床実習ではクリニカル・クラークシップ方式を採用しています。貴院の作業療法士の皆さまとは熊本県作業療法士会のつながりで交流もさせて頂いておりますが、皆さま作業療法の実践に情熱を傾けておられ、患者さんのために研鑽を重ねておられる様子がひしひしと伝わってきます。その熱意は学生も強く感じているようで、「毎日丁寧に指導して頂けた」、「心から尊敬できる作業療法士に出

会えた」、「貴院で実習を経験して精神科の作業療法士を目指したいと本気で思うようになった」などの声が返ってきています。私たち教員も貴院で実習を終えた学生の大きな成長を実感しております。

これからも本学にとって大切な臨床実習施設である貴院と一緒に作業療法士の育成をはかっていきたいと思っています。

●九州中央リハビリテーション学院 作業療法学科4年生

実習形態がCCSのため、一人の患者さんだけでなく、色々な患者さんを担当し、それぞれの疾患の特徴などを学ぶことができました。また活動を通して、一人ひとりの患者さんの得意とすることや苦手なことを知ることができ、アプローチや声掛けの方法も学ぶことができました。

スタッフさんがとても明るく、意見を言い合える仲の良さがあり、実習生にもたくさん声をかけてくださったので楽しく実習期間を過ごすことができました。



連携医療機関

このコーナーでは、向陽台病院の連携医療機関の先生や関連施設の方にご登場いただきます。

第8回



くろかみ心身クリニック

医師 本島 昭洋 先生

日頃から向陽台病院の皆さまには、入院加療やデイケア、訪問看護などいろいろなことでお世話になっており、大変感謝しております。当院は、昭和40年に「寺岡医院」として先代が開設しました。一時は6床のベッドを持っていたこともありますが、現在は無床の診療所です。平成18年に2代目院長として本島が就任し、名称を「くろかみ心身クリニック」に変更し、建物も新築しました。北から3号線を南下すると浄行寺交差点の手前300m付近で左に入ったところにありますので、植木・山鹿方面の患者さんはけっこう来られます。外来患者さんは毎日40名ほど来院されます。不安・抑うつ・不眠などで来院される方が多いのですが、統合失調症や認知症などの方もおられます。一人で診ており、外来で対応しきれない場合は、病院にお願いすることもあります。また、最近では、不登校や発達障害関連のチェックの必要な方も多く、心理検査やカウンセリングなどでもお願いすることがあり、向陽台病院の存在は本当に助けになります。

私は、向陽台病院には産業医としてかかわったことがあります。新病棟ができあがる頃のことですが、その時に感じたことは、若々しさと変革へのエネルギーです。それまで総合病院と県立の精神科病院しか知らなかった私にとって、常に新しいことに取り組もうとする姿勢がみられる向陽台病院は、とても新鮮に感じました。またチーム医療の実践がなされており、患者さんとも共同・協働していろいろな活動をされていることも心に残りました。これからもよい方向に発展していく病院と思っております。今後とも頼りにしますので、どうかよろしくお願い致します。



院内学級 ひかり

全集中!「ひかり」の呼吸。

院内学級ひかりでは今日もたくさんの小学生と中学生が学びを深めています。

通常の学級と違い院内学級では児童が日々入れ替わっていきます。そのため、一人ひとりの個性や特徴、特技や苦手を数カ月かけてゆっくりと把握していくわけ



にはいきません。先生たちにとっては、まさに息(呼吸)をつく間もないといったところでしょう。

隔週で行われる『学習カンファ』は、病棟と院内学級を橋渡しする情報共有の場です。小学部中学部の先生と医師を含めた病棟スタッフが会議室で話し合います。子どもたちの病棟での様子と授業中

の様子、退院に向けた本人・家族の意向や今後の見通しなど話題は多岐にわたります。

病棟で見せる顔とは違う「きらり」と光る一面を知ることが

でき、子どもたちの像をより立体的につかむのにとっても貴重な時間となっています。また、本人や家族、原籍校の先生や地域のサポーターを交えての面談も定期的に行って、入院中に見えてきた、“支援のヒント”を退院後の生活に繋げています。(辻翔太 / 杉本千佳子)

地域連携室からのお知らせ

初診予約専用ダイヤルを新しく設置

初めての方、1年以上受診されていない方の受診のご相談は、こちらの番号におかけください。

● 初診予約専用ダイヤル
096-272-0908

● 予約受付時間:
月～金曜日 9:00～16:30

初診予約の受付、待機状況については、ホームページの「お知らせ」で最新情報をご確認ください。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

動向を探る

向陽台病院を利用されている患者さんの2020年9月～11月の動向を掲載しています。

集 計 月	2020年 9月	2020年 10月	2020年 11月
外来延数	2,557	2,726	2,640
新 患 者	51	49	36
1か月ごとの入院患者数			
入 院	44	43	29
退 院	39	39	38

編集後記

「あの記事、おもしろかったよ!」と院内のスタッフから声をかけてもらえることが増えました。昨年は、なんと関東(!)から「毎号、楽しく読んでいます。」というお便りもいただきました。毎回「どんな記事にしようか?」「今、院内でアツイ話題は何だろう?」と広報委員のみんなで頭を悩ませています。みなさんからの感想を聞くとやりがいも感じます。

さて、今年はどんなわくわくする記事をお届けすることができるでしょうか?!

(杉本千佳子)

「こもれび」に関するご意見・感想をお待ちしています!

私たちは「こもれび」をとおして、皆さまに役立つ情報をお届けできればと作成しています。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

(向陽台病院 広報委員会)

診察のごあんない (2021年1月現在)

月	火	水	木	金
山脇	比江島	末永	陣門	田仲
新堀	田仲	矢田	牧〔隔週〕 横田〔晃〕〔隔週〕	河崎
宮崎	大嶋		長田	大嶋
				野上〔隔週〕

※担当医は予告なく変更になる場合がございます

祝日は外来をお休みします

- 診療科目：精神科・心療内科・児童精神科
- 病床数：198床
- 外来診療時間：月～金曜日 9時40分～16時
- 外来休診日：祝・土・日曜日

初めて受診される方へ

当院は予約制です。初めての方は、地域連携室へお電話ください。☎ 096-272-0908 (初診予約専用ダイヤル)

※地域連携室直通 (096-272-5250) は業務用となります。

電話の際、①お名前 ②相談内容 ③連絡先などをおうかがいし、予定の日時を決めます。

当日の所要時間は問診や診察、検査などを含め、2時間程度とお考えください。

病院理念

私たち向陽台病院は、地域医療のなかで安全で効果的な精神科医療を提供するために、職員の知恵を結集し、迅速かつ包容力のある対応ができる病院を目指します。

患者さんの権利

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
 2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
 3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
 4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。
- また、他の医療機関の医師の意見 (セカンド・オピニオン) を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。

交通アクセス

🚌【産交バス】向坂バス停から徒歩3分 投刀塚バス停から徒歩3分

🚗【車】植木ICから15分 北熊本スマートICから10分

🚆【JR】植木駅下車 → タクシーで6分



医療法人横田会 向陽台病院

熊本県熊本市北区植木町鐙田1025 tel. 096-272-7211



当院は「情報公開レベル優良施設」として、はとはあと評価 (認定3/Stage-1) の第三者評価認定を受けています。



当院は、2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2020年1月に3rdG:ver2.0で再認定されました。



上のQRコードをQRコード対応携帯で読み込むと向陽台病院携帯サイトにアクセスできます。